2025 年 7 月（第 1 版）　　届出番号：27B1X00173G00027

機械器具(58)整形用機械器具
一般医療機器　皿取りドリル（JMDN コード：16462000）

グンゼサージカルツール　ナローアクセスカウンターシンク

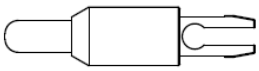
【禁忌・禁止】

1. 併用医療機器
   本品に適合する専用ドライバー以外、グランドフィックス以外とは使用しないこと。（相互作用の項参照）
2. 使用方法
   使用前に必ず洗浄、高圧蒸気滅菌（126℃以下）を施し、未滅菌状態での使用はしないこと。また、高圧蒸気滅菌以外の滅菌方法はしないこと。［**感染が発生する恐れがある**］

【形状・構造及び原理等】

1. 概要
   ネジの頭が表面と同じ高さか表面より下になるようにドリル孔の外側の径を拡大することを目的とした回転式外科用手術用器具。

2. 形状、構造
   本品は、ドリル孔に挿入してガイドの役割を果たす先端と拡大するためのらせん型の軸を有する。



3. 原理
   本品は、あらかじめあけられた骨孔に、先端を挿入して骨孔に垂直に挿入され、回転させることでその上部のらせん型部により骨孔の径を拡大させる。

4. 組成
   ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

本品は、一般手術処置用具として使用する。

【使用方法等】

本品は以下の専用ドライバーと組み合わせて使用する。

販売名	医療機器届出番号
90°スクリュードライバー	13B1X00204SC0003

1. 使用前
   1) 本品は未滅菌の為、使用前に必ず洗浄・滅菌を行うこと。（【保守・点検に係る事項】を参照）
   2) 本品を専用ドライバーにしっかりと取り付け、軸ブレがないことを確認すること。

2. 使用方法
   1) 骨孔に本品の先端を垂直に挿入する。
   2) 本品を回転させながら、らせん型部により骨孔を拡げる。
   3) 骨孔を洗浄する。

3. 使用方法等に関連する使用上の注意
   1) 本品は、使用する当社の骨接合材グランドフィックスミニスクリューの全長、骨質、術式などを考慮し、適切な品番を選ぶこと。
   2) 本品使用後は、切り屑が残らないように骨孔を充分に洗浄すること。［**本品使用後、骨屑が骨孔に残存すると、スクリュー挿入時に摩擦が生じ、その状態で無理にねじ込むとスクリューが破損し、再手術または手術時間の延長の原因となる**］

1. 重要な基本的注意
   1) 滅菌後は必ず完全に乾燥させること。
   2) 使用後は、直ちに血液、体液、組織片、薬品等を除去し、汚染、腐食、感染防止のため洗浄・消毒すること。特に溝部には残存しやすいので付着していないか確認すること。
   3) 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。
   4) 本品は、使用目的に合わせて繊細かつ精巧に作られている。変形或いはキズをつける等の粗雑な取り扱いをしないこと。
   5) 電気メスを用いた接触凝固は、術者が感電、火傷する危険性があり、また、器具の表面を損傷するので、併用しないこと。
   6) 塩素・ヨウ素系、強酸性、強アルカリ性の消毒液、酸化剤は腐食の原因になるので使用を避けること。器具に付着したときには蒸留水で充分に洗浄し、乾燥させること。

2. 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）
   [併用禁止]（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子等
専用ドライバー以外のドライバー	正しく固定できない恐れがあるため使用しないこと	固定不良など
グランドフィックス以外の製品		

3. 不具合・有害事象
   1) その他の不具合
      ・ 本品の摩耗、劣化及び破損等
   2) その他の有害事象
      ・ 破損片の体内遺残
      ・ 周辺組織、骨、血管、神経等の損傷
      ・ 本品の適切な洗浄、滅菌を怠ったために起こる感染

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

1. 本品は、高温・高湿を避け、塵やほこりのない清潔な場所に保管すること。また水濡れや直射日光は避けるよう細心の注意を払うこと。
2. 本品は、保管の際、変形や損傷の原因となりうる硬い物への接触や、衝撃を避けるよう注意を払うこと。
3. 長期に渡り保管する場合は、防錆油等の使用を推奨する（使用前には必ず洗浄して防錆油等を除去すること)。

【保守・点検に係わる事項】

1. 錆を防ぐために以下のことを守ること。
    1) 使用後は直ちに蒸留水で洗浄を行うこと（水道水は腐食の原因となる)。
    2) 洗浄には、必ず医療用の中性洗剤を使用すること。
    3) 洗浄後は速やかに充分乾燥させること。
    4) 汚れが残った状態で滅菌を行わないこと。
2. 使用を重ねることにより受ける反復的な応力により金属疲労に曝される。疲労が見られる場合は、その器具は破棄し新しい物と取り替えること。
3. 洗浄において、金属たわし、クレンザー等表面を傷つける物を使用しないこと。
4. 洗浄剤の残留がないように充分にすすぎをすること。仕上げすすぎには、蒸留水を用いること。
5. 滅菌は、本品を専用ドライバーから取り外して行うこと。
6. 滅菌に際しては下記の条件を参考に各医療機関により確証された条件で滅菌した上で使用すること。

標準的滅菌条件：高圧蒸気滅菌

温度	時間
121℃	20 分
126℃	15 分

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：グンゼメディカル株式会社

電 話 番 号：06-4796-3151